

北但大震災復興 100 年メモリアル講演

『100 年を超えて』 なお生き続ける 蓄音器の魅力にふれる

第 2 部：市民・観光客向けプログラム
(約 50 分)

日時：令和 7 年 6 月 18 日(水) 午後 5 時より
場所：城崎文芸館

主催：北但大震災復興100年記念プロジェクト実行委員会 教育部会

イベントの紹介

名曲の数々をジャンル別に「聴き比べ」

① 童謡・唱歌

- ・ 椰子の実
- ・ 赤とんぼ
(作詞：三木露風＝たつの市出身)
- ・ 浜辺の歌
- ・ この道
- ・ 雀の学校 など

② 歌謡曲

- ・ 有楽町で逢いましょう
- ・ 港町十三番地
- ・ 別れのブルース
- ・ 別れの一本杉
- ・ シナの夜
- ・ この世の花
- ・ 月がとっても青いから
- ・ 南国土佐を後にして
- ・ 俺は待ってるぜ など

③ クラシック

- ・ オー・ソレ・ミオ
- ・ 有名なバイオリン曲 など

※状況により曲目の変更があります

使用機材

- ・ エジソン アンペローラ30：ろう管蓄音器。100年以上前の音色を再現。
- ・ エジソン ダイヤモンドディスク L35：縦振動盤を採用した独特の音質。
- ・ EMG マーク9（ナイン）：紙ラップを使用したユニークな音響
- ・ 自作紙ラップ（カップラーメン鉢）：音の仕組みを学ぶための工作型ラップ
- ・ ビクター クレデンザ 8-30：「蓄音器の王様」と称される重厚な音色（JICO所有）
- ・ ポータブル型・卓上型 各1台：JICO所蔵の蓄音器



「針が紡ぐ音の歴史」

トーク

八日市屋 典之（ようかいちやのりゆき）氏（金沢蓄音器館館長）写真左
金沢市出身。レコード・オーディオ販売の経験を活かし、蓄音器文化の普及に
尽力。CD制作や音源アーカイブ推進にも関わり、「音の匠」特別功労賞など多
数受賞。

仲川 和志（なかがわ かずし）氏（日本精機宝石工業株式会社 代表取締役）
心理学を学び、精密針製造企業で経営を担う。新温泉町を拠点に、写真右
地域文化と音の未来をつなぐ活動を展開中。



蓄音器とレコード針の歴史的背景や技術的進化、そしてそれらがどのように地域文化と結びついてきたか
について、専門家の視点から深く掘り下げられます。音楽とものづくりの歴史に興味のある方にとって、
貴重な知見を得られる機会となるでしょう。